

週報

こひつじ

導かれる神

その三 一日契約の人生

次に、神に導かれる人生に見られるいくつかの特徴について考えてみよう。

第一は、神は物事を早くもなく遅くもなく、ちょうどよいときに、必要な分だけをお与えになるということだ。

荒野で天からのマナをイスラエルの民が集めたとき、みな多すぎ

ることもなく少なすぎることもなかつた。欲を出して、翌日までとつておくと、それは腐つていた。

私は、シャープをやめ、そのあと宣教師と数年働き、やがて結婚したのだが、その後は自分で生活の糧を得なければならなかつた。

（〇の八、九）

英語のほか、できるものとて何もないでの、子どもたちに英語を教え始めた。生徒は少しづつ増えていたが、振り返ると、神は、多くもなく、少なくもなく、ふたりが食べて行くのに必要な数だけの生徒を与えてくださつていたよう

に思う。

「貧しさも富も私に与えず、ただ、私に定められた分の食物で私を養ってください。私が食べ飽きて、

あなたを否み、『主とはだれだ。』と言わないために。また、私が貧しくて、盗みをし、私の神の御名

と宣教師と数年働き、やがて結婚したのだが、その後は自分で生活を汚すことのないために」（箴言三

第40巻 20号
大津キリスト教会
菊池郡大津町室 119
TEL 096-293-4470
FAX 096-293-4961
牧師 米村 英二

と箴言の記者は祈つたが、私もそのように祈り、そのように答えられたのである。

第二に、神の導きを願うなら、待つことが求められる。

神の導きは神のわざであるから、ドア一枚の値段までが書かれていたら。限られた予算で、しかもまだ

やるかどうかわからないのに、ページにわたる詳細な見積書だけを書かれていたが積水ハウスはす

べて鉄骨を使つて家を建てる会社

だつたのだ。そしてやつて来たのが八年前のあの大地震だ。建物は、

ほぼ完璧な姿で立つてゐる。

神はいつも待つことを求められ

る。ヤコブは言う。

「見なさい。農夫は、大地の貴重な実りを、秋の雨や春の雨が降るまで、耐え忍んで待つてゐます」

（ヤコブ五の七）

しかし私たちには急がなかつた。

内村鑑三も言う。

「まことに待つことは善きことな

の出会いがあつた。Nさんは私たちの要望にていねいに耳を傾けていた。春は待つてきた。自由はくれたが、すぐには来なかつた。待つてきた。平和は待つてきた。大きな会社だ。私たちの求める小

さな建物に関心はないのだと思つた。

善きことは来たる。ゆえに善きことをなさんとするにあたって、われらは必ずしも自ら進んで、しいてこれをなすを要せず。静かに待ちこれをなすをうべし。活(い)ける神の治めたもうこの宇宙にありて、待望は休止にあらず。またに詩人ミルトンの言いしがごく『待つ者もまた勤(つと)むる者なり』(『一日一生』)

最後に、神に導かれるためには、ただ漠然と待つのでなく、なすべき一事がある。

今日の仕事である。ニューマン

の歌にも、こうある。

ゆく末遠く見るを願わじ、
主よ、わが弱き足を守りて、
ひとあし、またひとあし、
道をば示したまえ。

(讃美歌二八八)

遠くを見ず、今日の一歩に忠実であること。それだけが神がわれわれに求めておられることなのだと思う。

カーライルは言つた。

「われわれの大事業とは、遠く離

れた所におぼろげにあるものを見つめることではなくて、手元にてこれを行なうことであつてこれをなすを要せず。静かに待ちこれをなすをうべし。活(い)ける神の治めたもうこの宇宙にありて、待望は休止にあらず。またに詩人ミルトンの言いしがごく『待つ者もまた勤(つと)むる者なり』(『一日一生』)

最後に、神に導かれるためには、ただ漠然と待つのでなく、なすべき一事がある。

今日の仕事である。ニューマン

の歌にも、こうある。

ゆく末遠く見るを願わじ、
主よ、わが弱き足を守りて、
ひとあし、またひとあし、
道をば示したまえ。

(讃美歌二八八)

遠くを見ず、今日の一歩に忠実であること。それだけが神がわれわれに求めておられることなのだと思う。

カーライルは言つた。

「われわれの大事業とは、遠く離

つきりとあることを行なうことである」

この言葉は、人生に悩んでいた若い医者オスラーに大きな光を与えた。彼は後にこう語っている。「ごく平凡であったが、このことばは私の胸を打ち、私の脳裏を離れず、私の役にたつてくれた。このことばを契機に、私は自分に与えられた才能を最大限にいかす習慣をもつにいたつたのである。その習慣とは、明日を思い煩わず、過去を忘れて、今日を生きるという習慣だ」

オスラーはこれを「一日契約の人生」と呼び、学生たちにはいつもこう勧めた。

「諸君の人生のどの段階にあっても、ボタンを押して、鉄の扉が過ぎ去を閉ざしてゆく音を聞いていたときたい。もう一つのボタンを押すと、金属製の仕切りが、未来を開ざす。そうすれば諸君は安全なのだ」

過去を忘れ、未来を思わず、ただ今日に生きる。自分の責任の枠

私自身もこの原理に立ち返ることによつて、何度助けられたことだろう。そのたびに複雑になりすがたの生活は簡素化され、私の人生」だ。

第一礼拝が五二名、第二が四〇名、合計九二名(男三〇、女六二)。それに子どもが六名、合わせて九八名でした。

案 内

コロナ以前は礼拝後、昼食に

ラーをたべながらの交わりがありましたが、それがなくなつてさびしいという声が聞かれます。そこで次週からは、パンなどの軽食を準備したいと考えていますので、ぜひお残りください。

今日の礼拝

○第一礼拝は午前一〇時から、

○教会学校は午前一〇時から、

○説教は米村牧師

第一礼拝は午前一〇時から。

○説教は米村牧師

第一礼拝は午前一〇時から。

先週の礼拝

米村幸子さんが大腸がんの手術をして五年になります。五月一五

日が最後の定期検診でしたが、とにかく転移その他の異常はないとのことでした。圧迫骨折のほうもほぼ完治しているように思われます。

岡なおみさん。説教は岩崎宏志さん。ルカ一八の三一～三四から、イエスの最終のゴールであつた十字架の死を理解できなかつた弟子たちについてでした。

皆さんのお祈り、ありがとうございました。